

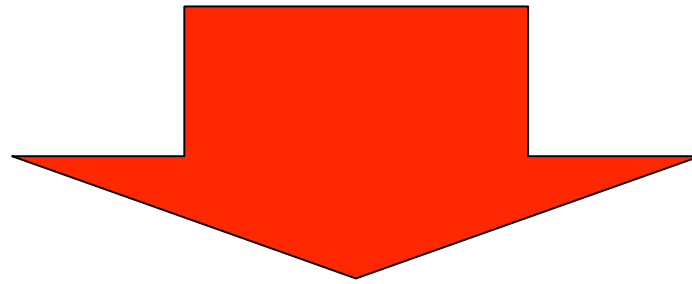
あわや事故!!

止まってよかった

ヒヤリハット…

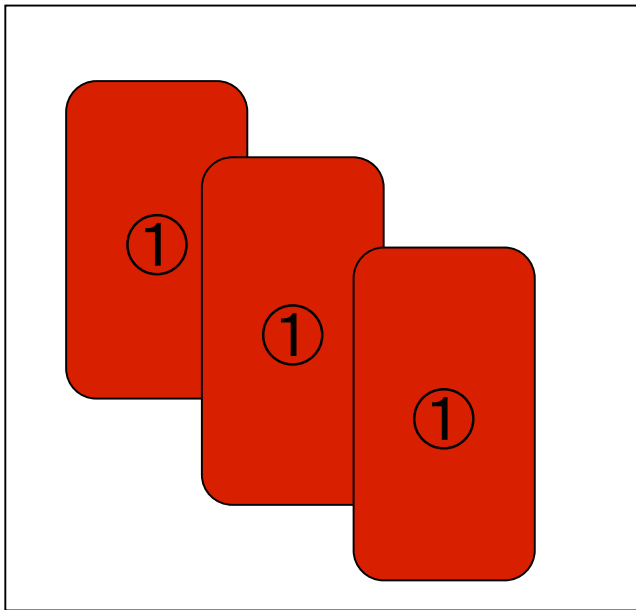
その1

血液のとり違い



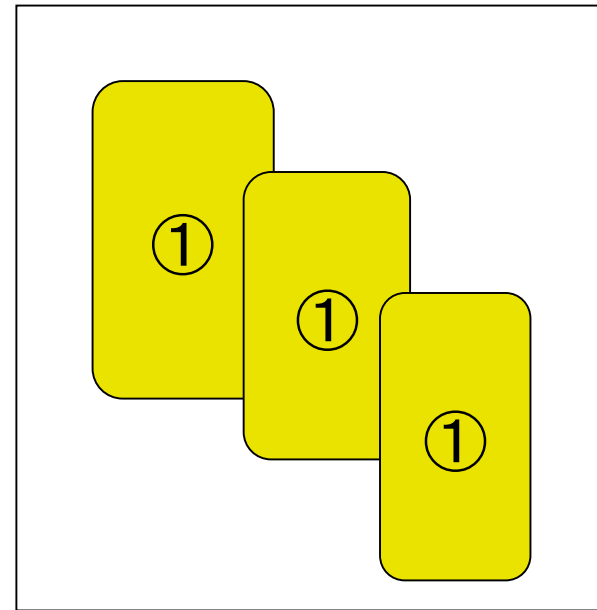
命とり

## X様用MAP



クロスマッチ: 適合

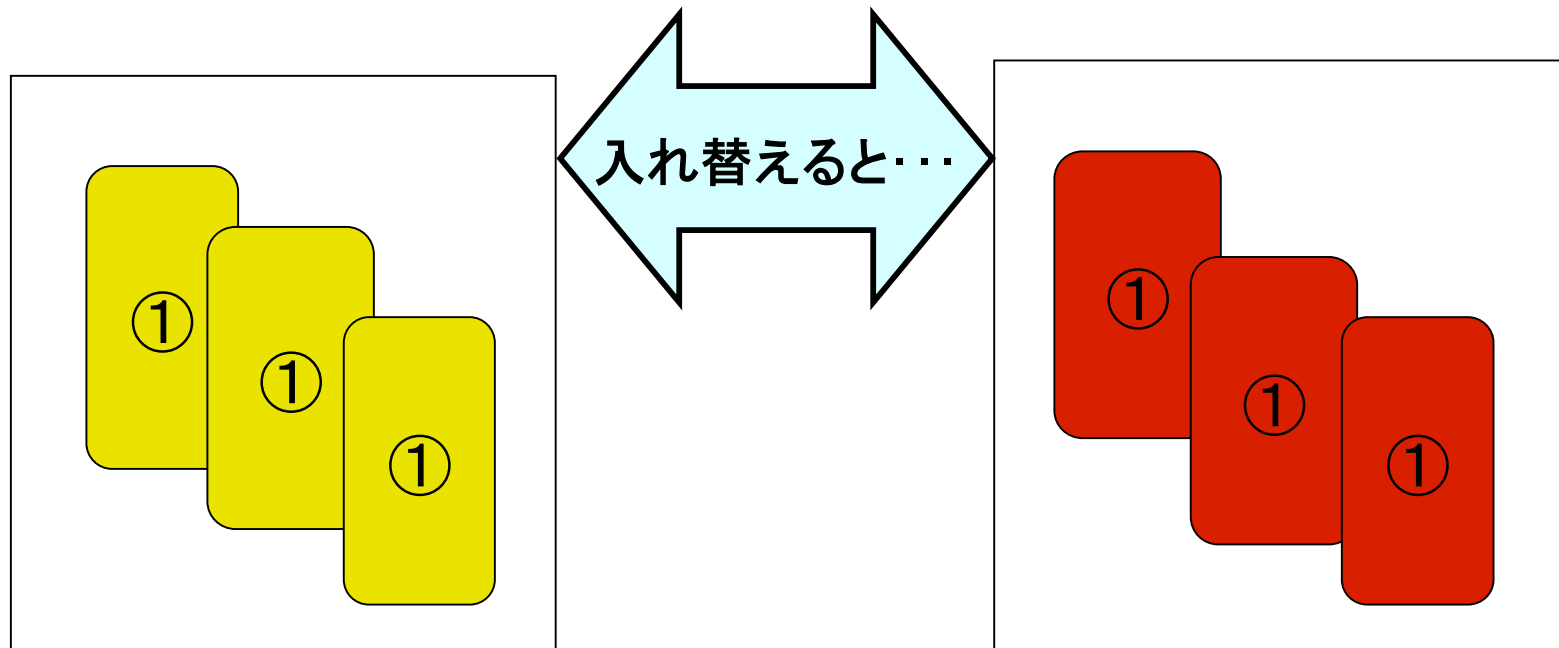
## Y様用MAP



クロスマッチ: 適合

# X様用MAP

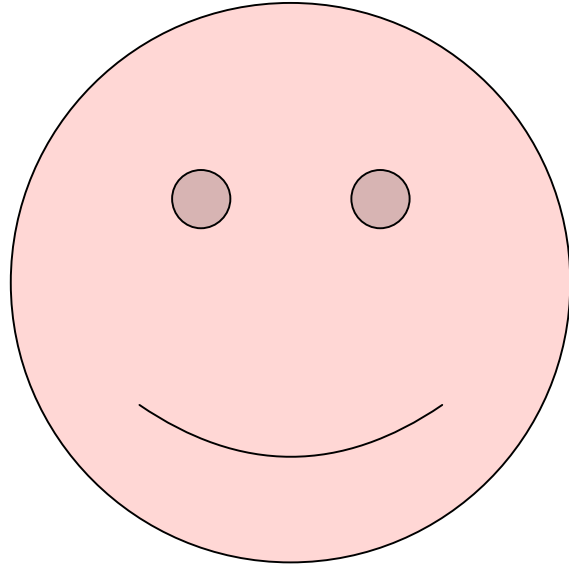
# Y様用MAP



クロスマッチ: ???

クロスマッチ: ???

X 様

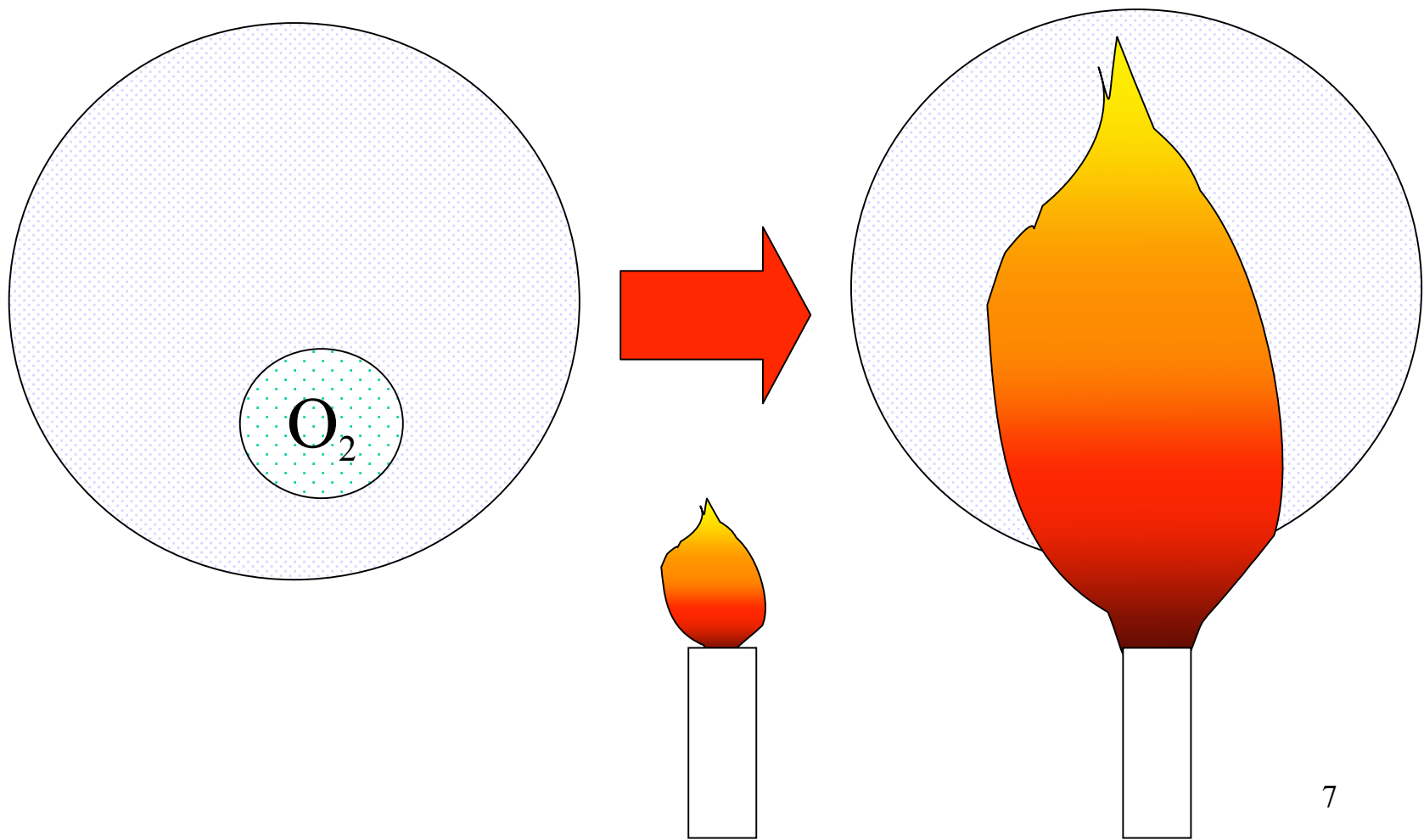


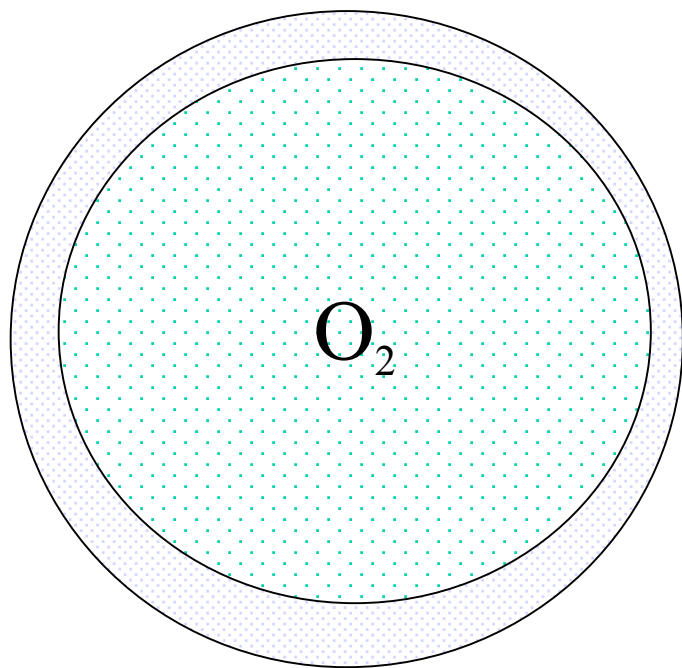
Y 様



その2

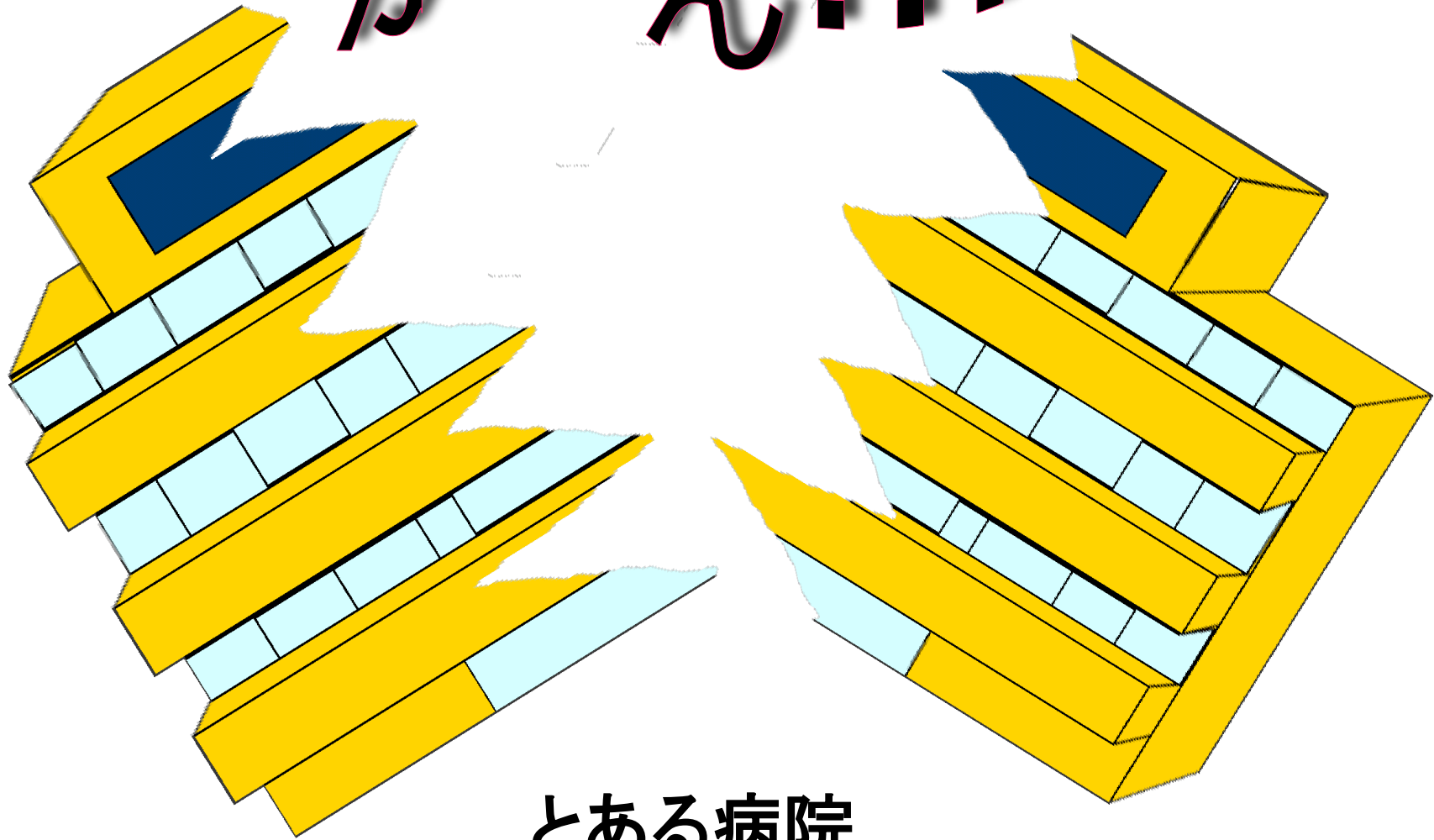
# 酸素の恐怖







がーん...



とある病院

## その3

ご存知ですか？

粒の大きさ

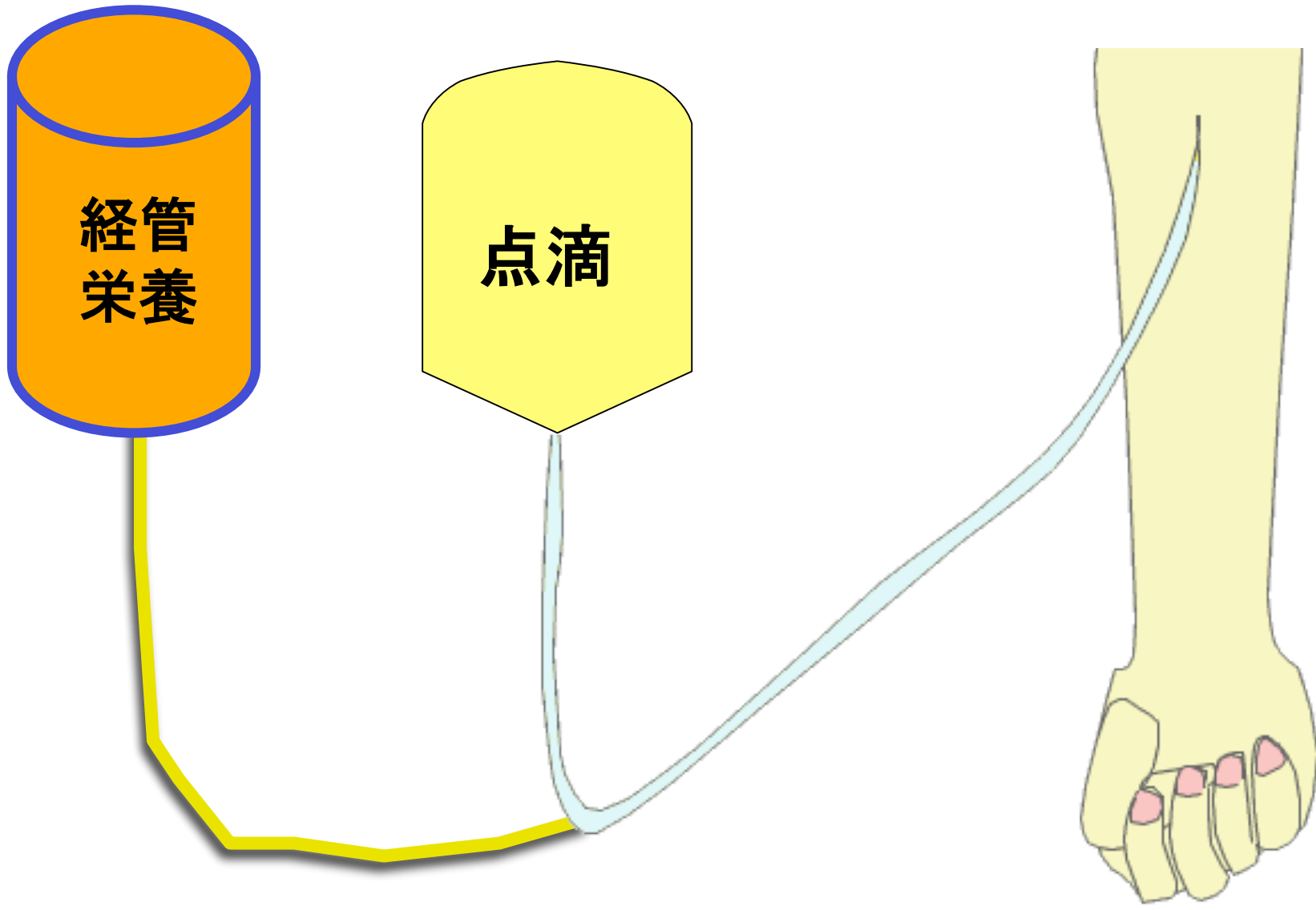
日本薬局方には、  
こんな決まりも載っています。

懸濁性注射液中の粒子は、通例、 $150\mu\text{m}$ 以下とし、  
乳濁性注射液中の粒子は、通例、 $7\mu\text{m}$ 以下とする。

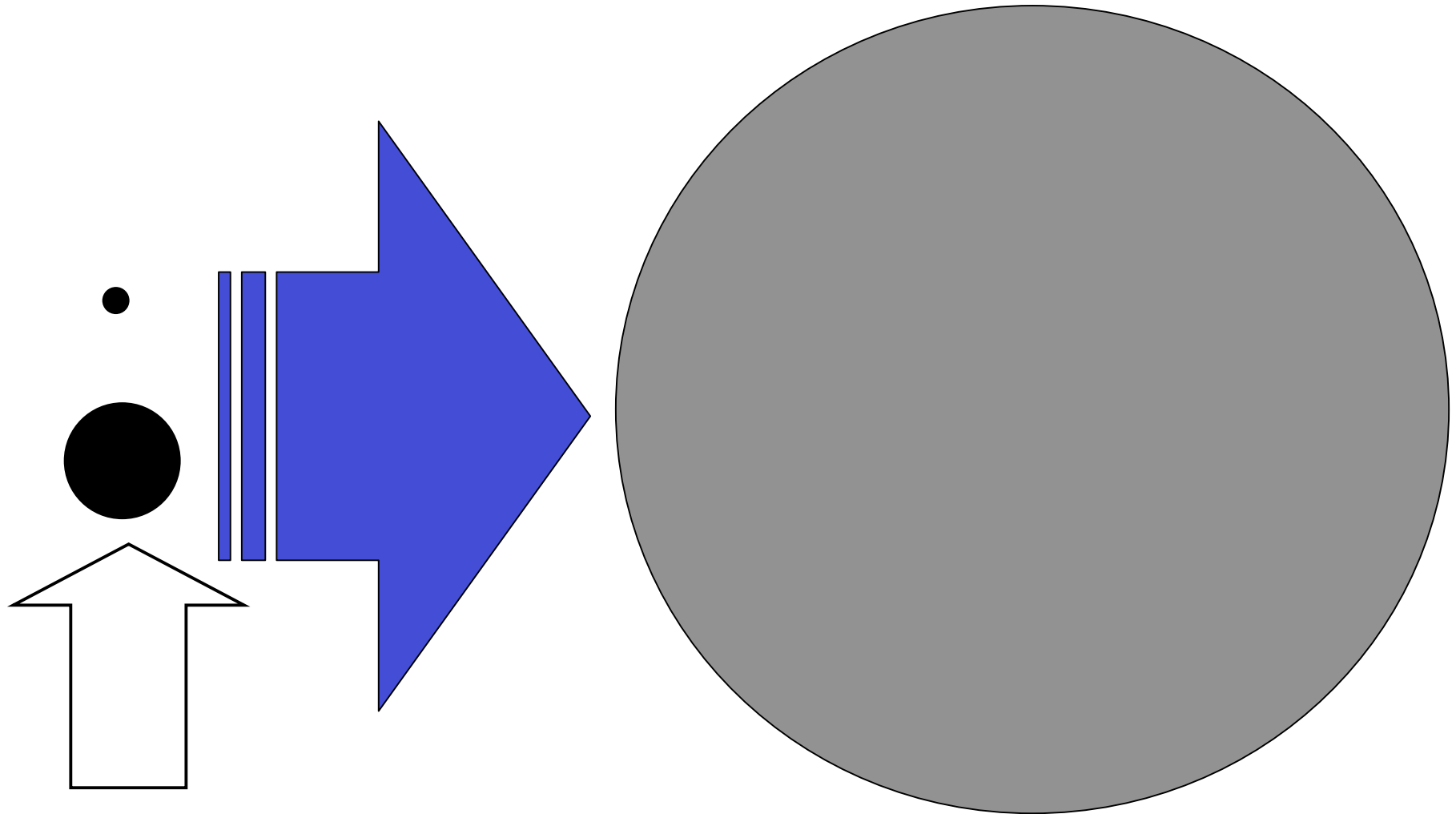
ただし、通例、懸濁性注射液は血管内又は脊髓腔内に、  
また、乳濁性注射液は脊髓腔内に使用しない。

懸濁性注射液：ケナコルトなど

乳濁性注射液：リプル・イントラファットなど

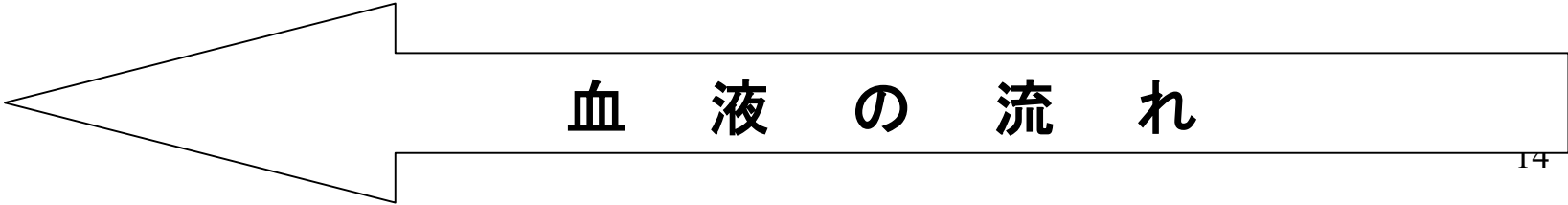
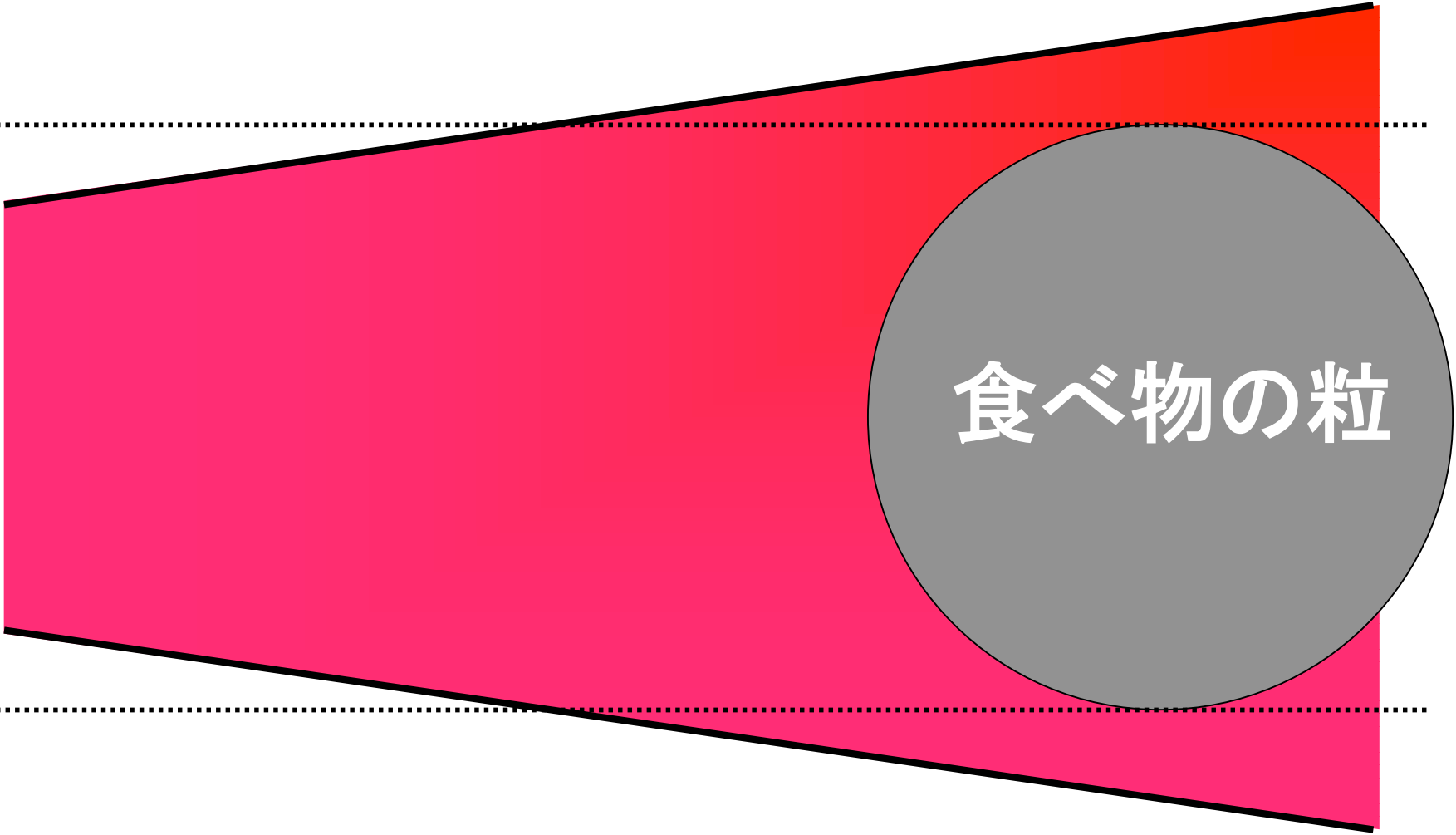


# それぞれの粒子を比較すると



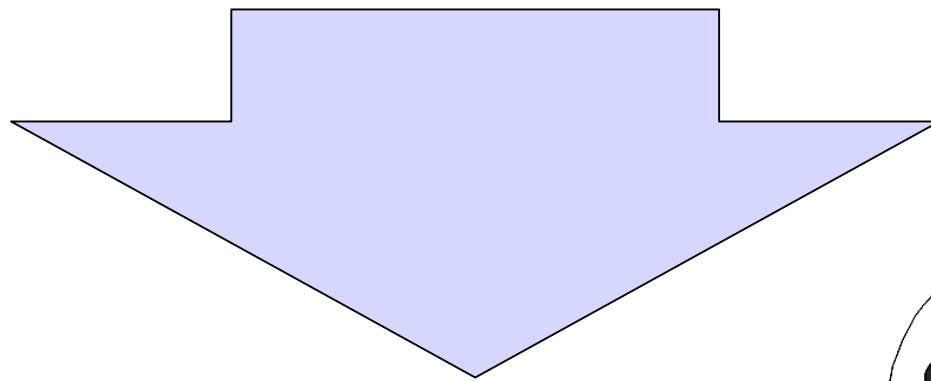
注射剤の粒子

食べ物の粒

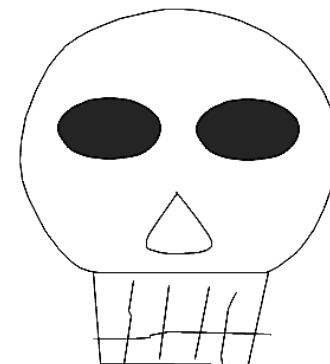


# 血管がつまってしまう！

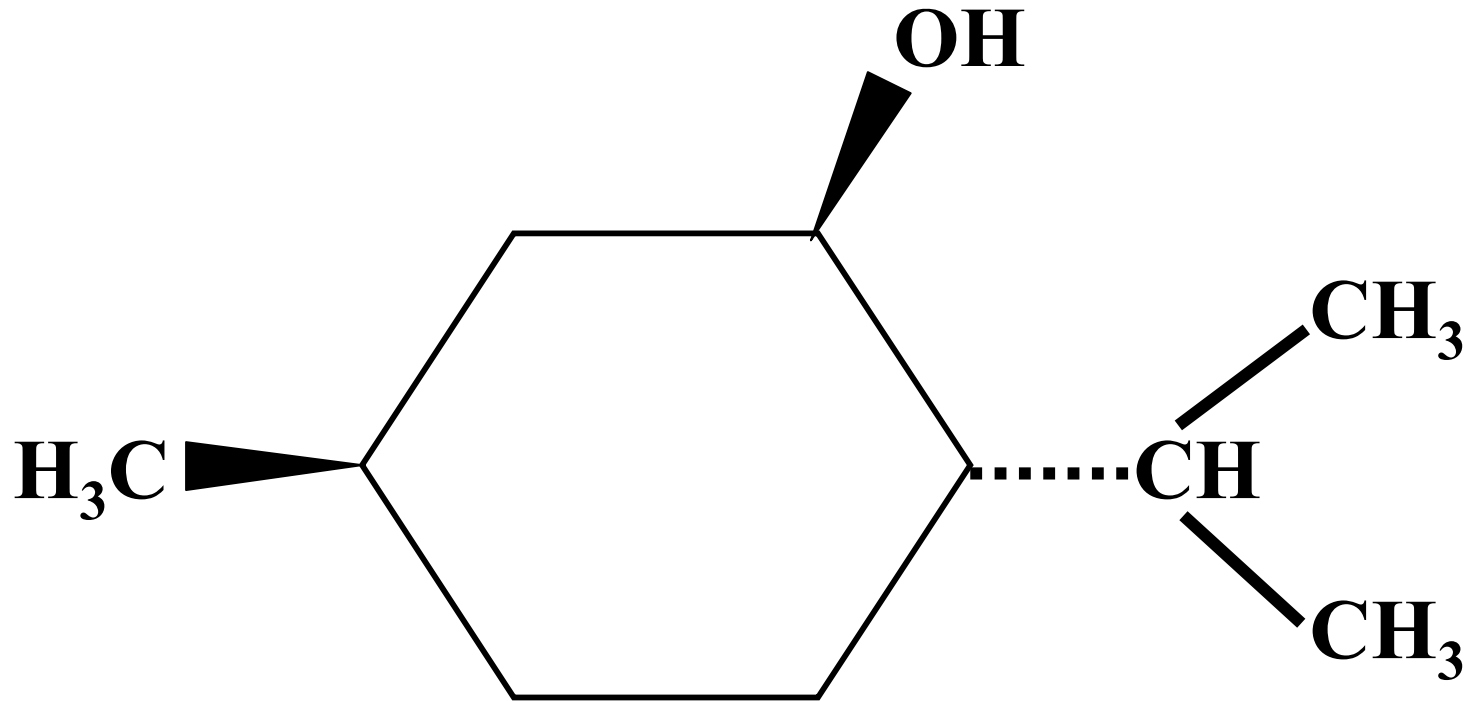
- ・取り去る手段がない
- ・いたるところでつまってしまう



結果は・・・



その 4



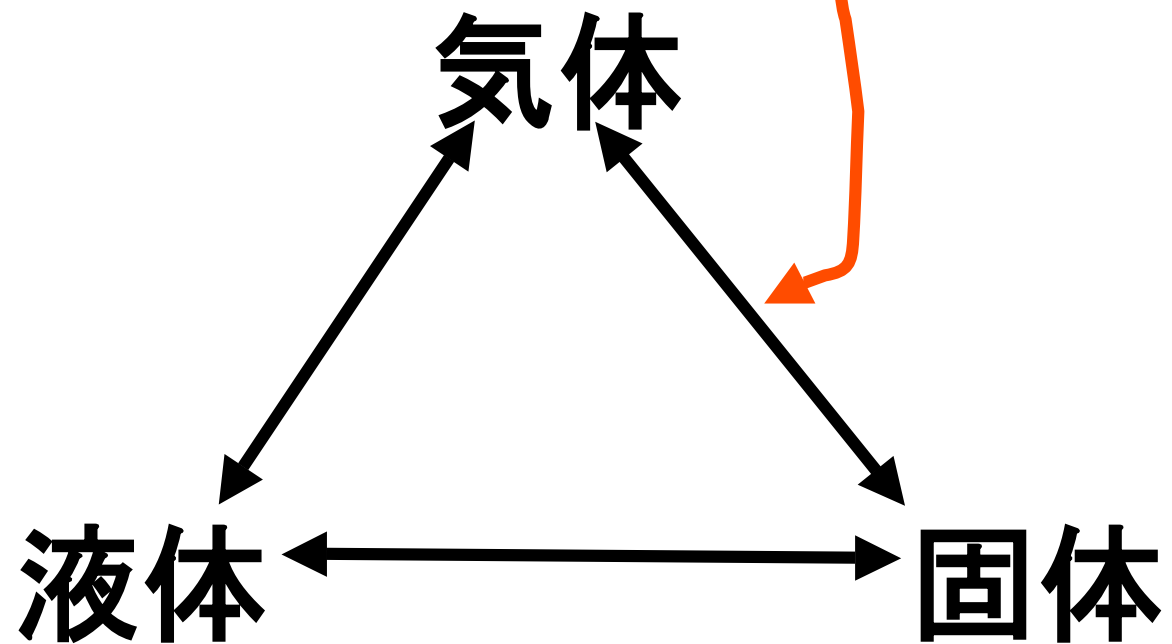
分子量:156.27

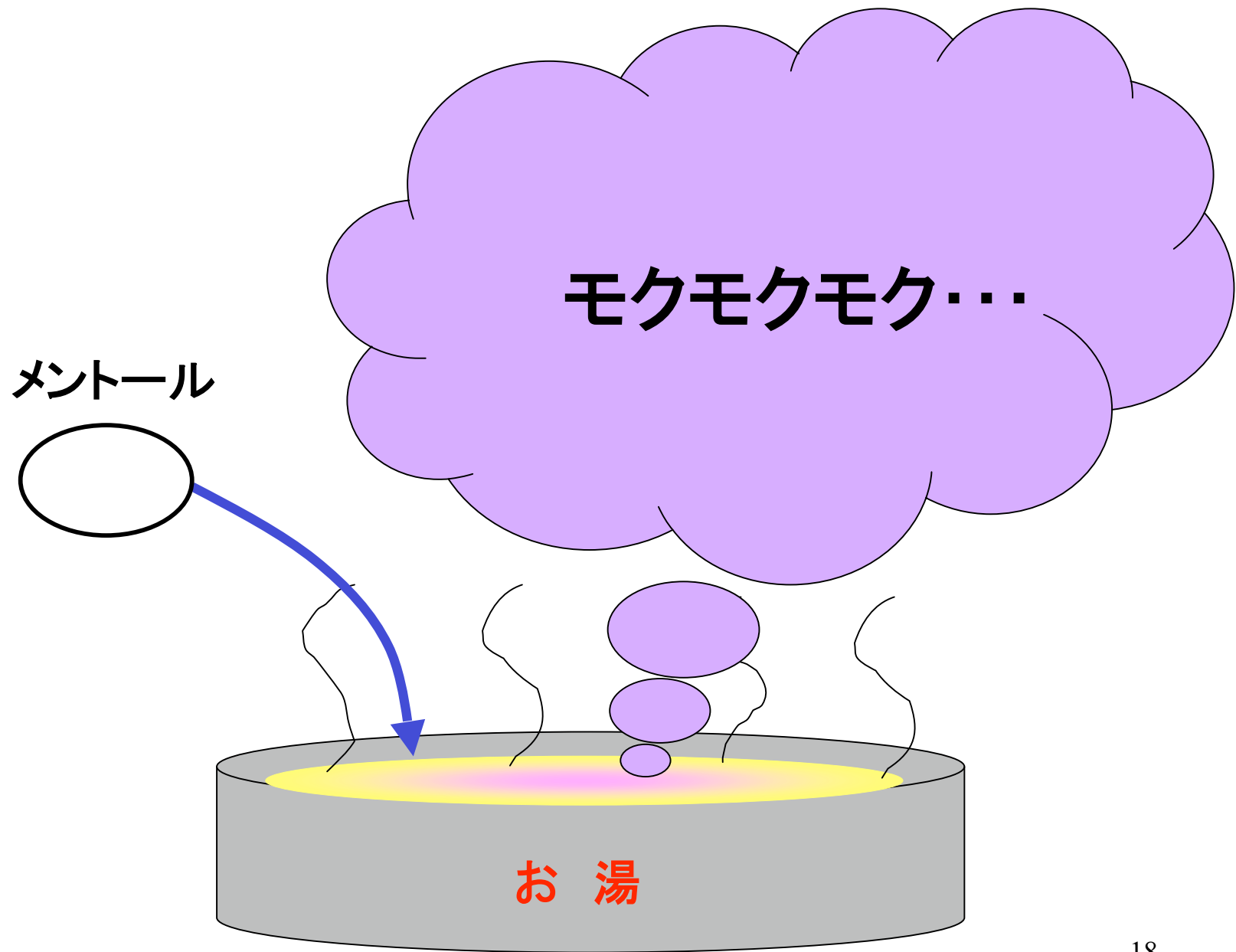
本品は無色の結晶で、特異でそう快な芳香があり、味は初めやくようで、後に清涼となる。



# メントール

溶ける温度: 42~44度  
室温で徐々に昇華する

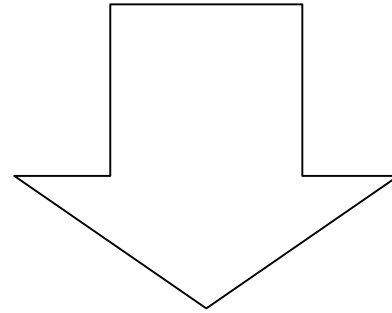
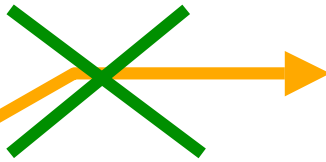




- 局所を刺激し、熱感、発赤、疼痛を起こす。
- 多量であれば血圧が上昇し、心臓にカンフル類似の作用を与える。
- きわめて多量であれば中枢神経を興奮させ、つづいて麻痺させ、死に至ることもある。

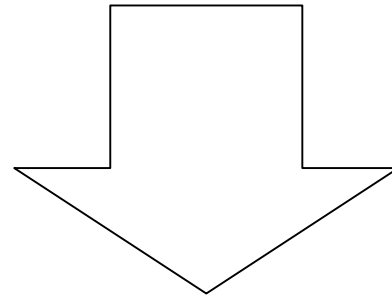
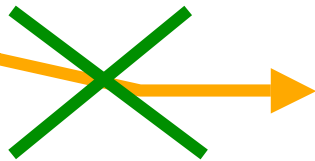
何の問題もないこと

防止



見過ごし など  
気の緩み

ヒヤリハット



防止

事故